

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	その他専門店 [陶器]（製 造）	販売量の動き	・販売量は上がっているが、客先からは国内観光客の財布の ひもがかなり固く、単価が低い商品が売れていると聞いている。
	○	一般小売店[土 産]（営業部 長）	来客数の動き	・中国からのインバウンドは、団体客は減少しているが個人 客は来訪しており、欧米からのインバウンドも増えている。 入域観光客が伸びて来客数は増えているが、客単価は伸びて いない。
	○	百貨店（経営担 当）	販売量の動き	・バレンタインデーギフト需要により、販売量が増加傾向と なっている。
	○	スーパー（企画 担当）	単価の動き	・正月需要に続き、今月は節分の恵方巻きが好調に推移して いる。原材料高騰に伴う価格上昇はあるものの、季節行事を 重視する消費者のプチぜいたく志向に支えられ、客単価は前 年を大きく上回っている。物価高による買い控えよりも、イ ベントに合わせた積極的な購買行動がみられている。
	○	家電量販店（営 業担当）	単価の動き	・来客数の減少を単価がカバーしており、前年と変わらない 見込みである。
	○	乗用車販売店 （経理担当）	販売量の動き	・販売の契約が順調に伸びている。
	○	その他専門店 [書籍]（部 長）	販売量の動き	・売上は前年比で微増している。同業種の他店舗では、 ショッピングセンター施設内の店舗は好調と聞いている。
	○	観光型ホテル （専務取締役）	来客数の動き	・来客数の動きが、今年の計画値及び前年同期の実績値と比 べてどちらも数値が上回っている。
	○	観光型ホテル （企画担当）	販売量の動き	・11月の販売室数が前年比6%増加なのに対し、2月は前年 比29%増加と、プラス幅が大きくなっている。
	○	観光名所（職 員）	来客数の動き	・春節の影響でインバウンドが増加しているとともに、気温 や天候にも恵まれたため来客数が好調である。
	○	住宅販売会社 （営業担当）	来客数の動き	・客の物件購入相談が増えている。
	○	住宅販売会社 （役員）	販売量の動き	・販売量の増加に加え、来店や問合せが3か月前より増加し ている。特に売買物件の内覧や査定依頼が増えており、購入 を前向きに検討する動きが見られることから、景気はやや上 向いているとみられる。
	□	商店街（代表 者）	お客様の様子	・街中は飲食業が増えているのに対して、小売店の商品販売 は厳しい状況にある。業種によっては一長一短であるため、 全体の売上としては、判断が難しい状況である。
	□	スーパー（店舗 管理）	来客数の動き	・1～2月の売上は芳しくないが、客単価が好調なため、何 とか採算が取れている状況である。
	□	衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・客単価は上がっているが、販売数は減少しているため、多 くの人が節約志向に向かっているとみられる。
	□	乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・春先需要により新車販売台数の伸びを期待していたが、現 状は厳しく、大幅な前年割れになっている。
	□	その他飲食店 [バー]（経営 者）	来客数の動き	・平日はある程度の来客はみられるものの、週末は人の動き が減少している。
	□	その他飲食店 [ファースト フード]（総務 部）	来客数の動き	・2月は日数も少なく観光客も比較的少ない時期のため、11 月頃と比べても落ち着いた時期となっているが、前年比で売 上は良くなっている。来客数の伸びは少ないものの販売単価 が上昇している。
	□	観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・引き続き国内客が好調に推移している。
	□	旅行代理店（マ ネージャー）	お客様の様子	・円安と物価高が続いているため、旅行に行ける層と行けな い層の2極化が進行している。
□	通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・販売数が前年比で85%程度となっている。	

	▲	通信会社（サービス担当）	来客数の動き	・3か月前と比較して、店舗への来客数が減少している。以前は新型モデルの発売や料金プランの見直しの相談で週末を中心に活気があったが、現在は買換えサイクルの長期化もあいまって、来客数が伸び悩んでいる。予約なしで来店する顧客も減少しており、店舗全体の活気が停滞気味である。
	×	一般レストラン（代表者）	来客数の動き	・全体的に来客が弱い状況である。
企業 動向 関連	◎	—	—	—
(沖縄)	○	通信業（総務）	それ以外	・観光需要が引き続き強い印象があり、人手不足とみている。
	□	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・正月明けは引き続き消費者の財布のひもは固い一方で、飲食を含めた観光関連の消費は好調を維持している。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・今期の大型受注案件はおおむね完了し、生産、販売共に横ばいの状況である。
	□	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・引き合いはあるが、見積価格と受注者希望価格に差を感じる案件が続いており、取引業者との価格調整が難航している。
	□	会計事務所（所長）	取引先の様子	・物価高騰の影響が大きく、景況感の好材料がみられない。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—
雇用 関連	◎	—	—	—
(沖縄)	○	*	*	*
	□	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・3月の契約終了者が多く、案件はあるが求職者の動きは鈍い。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月比で求人数は減少したが、求人者から人手不足の相談は多くみられる。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・前月同様、IT系企業を中心に求人を受けている。求人数が届くピークは過ぎたため、今後は同様の求人数で推移していくとみられる。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	それ以外	・外食の値段が上がっている。購買意欲はあるが、節約の意識が続いている。
	▲	求人情報誌製作会社（審査）	求人数の動き	・景気は3か月前と比較して、僅かに下向いている。特にサービス業で新規求人の動きが鈍い。長引く物価高が原材料や光熱費などのコストを押し上げている。また、最低賃金引上げに伴う人件費の負担増も依然として重く、採用意欲の減退や採算性の悪化に影響している様子が見受けられる。
	×	—	—	—